

令和4年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」

第3回「小学校の校庭で自然体験（市部）」（テーマ：自然・生活）

□実施日時 令和4年8月4日（木） 9時30分～12時00分

□実施場所 福生市福生第七小学校校庭

□実施内容

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. 講師からの講義・体験

（講師：NPO法人自然環境アカデミー 野村亮氏、谷村春樹氏）

（1）環境学習のポイント ～体験の重要性～

子供たちに感じてもらうためには、先生方にも子供になった気分で観察をしてもらうことが大切である。正しい、間違っているという考え方は捨て、いろいろな植物や昆虫などの発見から、身近な環境の中における自然との触れ合いを体験してほしい。

（2）それぞれの活動

<リアル>

① 校庭にある植物の観察

コース（テーマ）を選択し班分けし、それぞれの学年になった気持ちで校庭の学年ごとに設定されたテーマを実践した。

- ・虫探し（低学年）・校庭の草花（中学年）・校庭の樹木マップ（高学年）





しかし、途中から雨が降ってきたため、一時中断し雨合羽を配布し作業を続けた。
雨合羽配布までは軒下にて、近くの草木の解説をした。



② 情報共有

今回の観察の中で感じたことや、植物の特徴などの説明を班で確認し、今日の講座の理解を深めた。また、自分の授業での悩みや失敗例、成功例などを共有し、環境学習を実践するにあたってのポイントの洗い出しを行った。



<オンライン>

① 動画による校庭にある植物の観察

事前に撮影した校庭の植物の動画を視聴し、校庭の樹木マップ（高学年）の中の「木に名前を付ける」を実践した。



② 情報共有

その後、自分の選んだ木とつけた名前を発表し、それぞれの注目した点などを共有した。

また、オンライン同様自分の授業での悩みや失敗例、成功例などを共有し、環境学習を実践するにあたってのポイントの洗い出しを行った。



(3) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）<オンライン,リアル合同>

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、グループごとに発表し、受講者で情報を共有した。



(発表意見の例)

- ・モンシロチョウを育てていたが、寄生バチがおり蜂が出てきた、など「正解」と思った結果にならなかったときの対応に不安がある先生が同じようにたくさんいて安心した。
- ・失敗は失敗ではなく、それをどう考えるかによって変わってくるので、その発想の転換、考え方を私たちが変えていかなければいけないと思った。
- ・ヤゴを育てていたら書道の時間にトンボになった。羽化する時間は操作できないので、とても大変だった。一方で、羽化できずに死んでしまったヤゴをどう扱えばいいか悩んでいる先生もいて、どの方向に行っても悩むこと、考えることになると思った。経験していないことを聞けて良かった。
- ・写真を撮ればネットを通じて植物の種類がわかるのはとても良いと思う。
- ・タブレットをどのように授業に活かしていけばいいのか悩んでいる。面白いアプリなどもあるが、学校用のタブレットにアプリを入れるのはとても大変(ルールなど)なので、そこをどうにかしたい。

3. 事務連絡、アンケート記入等 (事務局)

アンケート提出後、解散